



# 小川小学校

HP:<http://www.ogawa-e.murakami.ed.jp>

令和4年11月15日

〒958-0268

村上市小川1-4

TEL:0254-52-2723

FAX:0254-52-4327

## 『たたくより、たたえ合おう』

校長 佐藤 進

最近、コンビニを舞台とした「たたくより たたえ合おう」というキャッチフレーズのCMがよく流れています。レジの前で支払いを焦っているおばあさんに、後ろに並んでいる強面のお兄さんが話し掛けます。「誰も怒ってなんかない。あんたのペースでいいんだ何も気にすんな。」そんな思いがけない優しい言葉におばあさんは応えます。「あたしも反省、見た目で判断。もういらぬわ色眼鏡なんて」(中略)そして、二人は声をそろえて呼び掛けます。「一人一人にリスペクト(敬意をもつ、尊重する)」このやりとりを見ていた店員さんが歌い始めます。「たたくよりたたえ合おう、それが優しい世界」。一度でもこのCMを見たことがある人なら、映像が浮かぶのではないかと思います。

CMでは、高齢者と若者の話になっていますが、「一人一人にリスペクト。たたくよりたたえ合おう」は、誰にでも当てはまることです。たとえそれが親と子の関係だとしても同じです。学校では、子どもたちに教えることもたくさんありますが、同じように子どもたちから学ぶことがたくさんあります。上から目線ではなく、子どもをリスペクトする気持ちを持ち、人権を尊重し子どもから学ぶ姿勢をもつことも大切なのではないのでしょうか。

一方、友田明美著「子どもの脳を傷つける親たち」(NHK出版新書)とショッキングな題名の本には、次のように書かれてあります。

- ・子どもの脳は、マルトリートメントを受けることで変形する。
- ・マルトリートメントの内容(種類)によって、脳の変形する場所が違う。

※マルトリートメント(不適切な養育)・・・虐待を含む、子どもの心と身体の健全な成長・発達を阻む養育をすべて含んだ呼称

虐待というと、我が家には関係ないと思ってしまいがちですが、子どもが傷つく行為が全て「マルトリートメント」です。しかし、子育てしていく上で、マルトリートメントの経験が全くない親などいないのではないのでしょうか。大切なのは、叱りすぎたかな、子どもを傷つける言葉を言ってしまったかなと思ったとき、自らを反省し、これまで以上に子どものよいところを見つけ褒めたり、当たり前前ことができていることを認めたりしながら、良好な信頼関係を育んでいくことではないのでしょうか。

とはいえ、子どもの言葉や行動、何度注意しても止めないことにイラっとすることがあるかもしれません。そんな時には、右のQRコードで、厚生労働省「たたくかれてもいい子どもなんていないんだよ」にアクセスし、参考にしてみたらいかがでしょうか。

11月は、児童虐待防止推進月間。子どもにとって家庭が幸せな場所がありますように。



# 様々な体験活動を実施し学び多き時間となりました！

## 5年生 自然教室に行きました

10月13日（木）～14日（金）に1泊2日で、県立少年自然の家へ自然教室に行きました。初めての友達との宿泊でしたので、子どもたちも張り切って活動していました。オリエンテーリング・キャンプファイヤーと屋外での活動も生き生きとして楽しむことができました。楽しむだけでなく、きまりよく生活することや、すばやい行動など、今後の学校生活で生かしていきたいことをしっかり学習することができました。貴重な体験活動で、また大きく成長した子どもたちを見られました。今後の活躍に期待しています。



## 3年生 消防本部見学

11/9（水）に、社会科の学習で消防本部を見学しました。普段は見られない消防署の仕事を教えていただいたり、消防服を着せてもらったりして、子どもたちは大興奮でした。消防の仕事に対する理解が深まり、火の用心の意識も高まりました。



## 4年生 鮭の孵化場見学

10/21（金）に、鮭の孵化場を見学しました。伝統的な漁法を見せていただいたり、鮭の卵を受精させる場所も見せていただいたりしました。実際に取れた鮭を持たせてもらい、その大きさと重さに驚いていました。命をつなぐ努力や人間の役割の大切さに気付いた貴重な体験となりました。



## サツマイモの収穫ができました

10/21（金）に、1・3・5年生と2・4・6年生に分かれて、恒例のサツマイモ掘りを行いました。たくさんの地域ボランティアの方々が、事前につるの始末やイモを焼く準備をしてくださりました。そのおかげで、子どもたちはイモ掘りに専念し、ホクホクのおいしい焼きイモをいただくことができました。子どもたちは、苗が根付くまでの水やりや夏の雑草取りなど、サツマイモが大きく育つようにお世話を頑張りました。子どもたちは、お土産にもらったイモを嬉しそうに持ち帰っていました。地域の皆様方からは、日頃から当校の教育活動にお力添えをいただき感謝申し上げます。

